

不安の先に希望の光を...

4月の新入園を迎え、在園児も進級し、本来ならば晴れやかな気持ちでスタートするはずでしたが、新型コロナウイルスの感染が広まる中、国から緊急事態宣言が出され、野の花保育園も臨時休園という措置を取ることとなり、先の見えない不安を抱きながらの新学期となってしまいました。この間、保護者の皆さまには多大なるご理解、ご協力をさせていただきありがとうございました。心より感謝するとともに、大変な危機を共に乗り越えていこうという強い思いを実感しています。臨時休園中に職員で手分けして、皆さんの健康状況、ご家庭での様子をうかがわせていただきました。子どもたちも保護者の方々も皆さん元気に過ごしていることが分かり安心しました。お家での過ごし方も皆さんそれぞれ工夫しながら過ごされていましたが、「この状況がいつまで続くのか...」「保育料はどうなるのか...」などの不安も皆さん同じように心配されていました。私たちがこんなに努力し、つらく不安な気持ちで日々を過ごしているのに、感染者の数は全く減りません。一刻も早く終息し、子どもたちの元気な声が響く笑顔あふれる日常が戻ってきてほしいと願うばかりです。



年間で大切にしたいこと...

5月9日(土)は保育者全員で、今年一年大切にしたいこと(年間計画)を話し合う予定でしたが、今回会議はやむなく中止にしました。会議はなくなりましたが、各クラス担任で連絡を取り合い、一年間大切にしていきたい事や園目標である「じょうぶなからだ たしかなかながえ ゆたかなこころ」を育むために、保育者が手助けできることは何なのかをまとめています。また、保育者だけでなく保護者のみなさんと一緒にお子さんの成長を見守り、育ていける環境をつくっていきたいと思っています。

例年、5月の下旬から6月の中旬にかけて、各クラスの保護者会を開催しています。この一年間「クラスで大切にしたいこと」などを中心にお話しさせていただく予定でしたが、コロナウイルスの関係で保護者会の開催も難しい状況です。決まり次第お知らせいたします。

～お知らせ～

- ・新入園のお友だちを紹介します。
つくしぐみ：ながいあんり永井杏璃さん
- ・退園のお友だち
りんどうぐみ：なおいせいじゅうろう直井晴十朗くん



子どもたちの様子(保育園の様子)

4月に15人の新しいお友だちが喜多見野の花保育園に仲間入り。新入園児も在園児もドキドキ・わくわくな新しい生活が始まろうとしていました。そんな中、野の花保育園もコロナウイルスで登園自粛・休園という状況になってしまいました。

休園中も毎日2、3人の子どもたちが登園しています。園庭で遊んだり、草むしりを一緒に手伝ってくれたり、室内で積み木や竹とんぼを作ってあそんだりしています。早く保育園に元気な子どもたちの声が響きわたるのを待ちながら、今は皆で「stay home」しましょう。

